

令和 3 年 9 月 1 4 日
保健福祉総務課

福島県保健医療福祉復興ビジョン改定の概要について

改定の趣旨

- ・今年度改定される上位計画である総合計画の「理念」や「目指す将来の姿」を踏まえ、それらと整合性を図りながら保健医療福祉施策の方針を新たに示す。
- ・現行ビジョン策定時から変化した社会情勢（国の方針（法定計画等）、復興の長期化、新型コロナウイルスの流行、デジタル変革（DX）、SDGs の普及、災害の激甚化等）に対応する。

ビジョンの主な変更点

○「理念」「めざす将来の姿」「施策の方向」

- ・現行ビジョンの理念はスローガン形式をとっていたが、新たな総合計画の理念に合わせ、文章とキーワード形式に変更する（理念とは別にビジョン全体を表すスローガンを設定）。
- ・新たなビジョンの理念は「粘り強さ、しなやかさ、チャレンジ精神、連携・共創」をキーワードとして、長期化、複雑化、多様化するさまざまな課題に対応していくことを明記する。
- ・めざす将来の姿は、上記の策定の趣旨を踏まえ、「健康長寿と地域共生社会」「子育て・子育て支援」「安全安心な医療、介護・福祉サービス提供体制等の社会基盤の整備」の 3 つの側面から整理する。
- ・施策の方向については、上記の策定の趣旨を踏まえ見直しを図り、指標については、総合計画で設定した指標を基本とし、ビジョンの進捗管理上、特に必要な項目を追加する。

○計画の期間

総合計画と整合性を図り、令和 4 年度から令和 1 2 年度までの 9 年間とする。なお、総合計画の改定や大きな制度改正、社会情勢の変化等に合わせ、柔軟に見直すこととする。

○本文構成

- ・全体の章立ては現行を基本とし、ビジョンの位置づけに関する記載を整理、重複する内容の削除、その他文章の追加・整序を行い全体的な見直しを図る。
- ・基本施策の各論を記載する際に、併せて背景や課題を記載することとする。